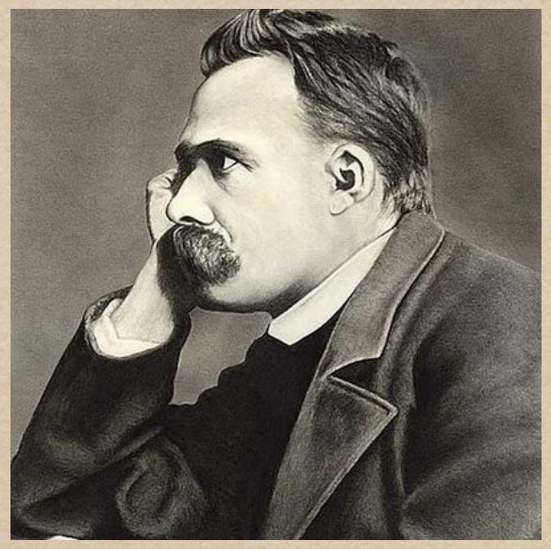
Club Je Pense

2021年3月講義

『力への意志』の活用

確認になりますが

『力への意志』とは
ドイツの哲学者フリードリヒ・ニーチェ



の後期著作に出てくる哲学的概念です

ちなみに

『力への意思』
ではなく
『力への意志』

です

人よりも優位にありたいという意志

向上心・成長意欲・野心・欲望など
より良くありたいというエネルギー

これらを力への意志と呼ぶ

では
力への意志は誰しもが持っている
人間の本能なのでしょうか？

野心や成長意欲などというと
一部の成功者や強者だけが持つ
エネルギーのように思われがちですが
ニーチェはあらゆる人間の行動の
原動力になっていると言います

しかし
世の中を見渡すと皆が
『力への意志』
に基づいて生きているようには
見ないかもしれません

それはなぜだと考えますか？

それは
強者と弱者では
『力への意志』
の発揮の仕方が異なるからです

例えば

現在は管理されているような
弱い立場の人の『力への意志』は
「とにかく開放されたい」
というものだったりする

「生活のための労働に縛られたくない」
「上司や先輩に命令されたくない」
「お客さんか文句を言われたくない」
「もっと自由にやらせて欲しい」
などなど
一般的な人によくある欲求かもしれません

あるいは

現在は力を持ちつつあるような
発展段階の人の『力への意志』は
「もっと権力が欲しい」
というものだったりする

「今よりも高い給与報酬が欲しい」
「もっと責任ある立場に就きたい」
「部下を思い通りに動かしたい」
「重要な人物として重用されたい」
などなど
ある程度成功しかけている強者寄りの
欲求かもしれません

あるいは

社会的な大きな力を持つ
いわゆる成功者の『力への意志』は
「世界をより良くしたい」
というものだったりする

「自分が得た富を社会に還元したい」
「若者を育て技術を後世に継承したい」
「世界を思い通りに動かしたい」
「歴史の残る偉業を成し遂げたい」
などなど
大抵のものを手に入れた強者の欲求

このように
どんな立場にあったとしても
『力への意志』が発揮されれば
理想が現実化していきます

しかし
現実には富めるものますます富み栄え
貧するものはますます貧していく

それは

どうしてだと考えますか？

ニーチェがまず着目したのは
現在は弱い人間の
『力への意志』
の発揮の仕方です

弱者のねじ曲がった『力への意志』

それが

ルサンチマン

ルサンチマンとは

主に弱者が強者へ抱く
「憤り」「怨恨」「憎悪」「非難」
などです

なぜ

弱者はルサンチマンを発揮するのか？

さきほど例に挙げたように
現在は弱い立場にある人もその人なりの

「生活のための労働に縛られたくない」
「上司や先輩に命令されたくない」
「お客さんか文句を言われたくない」
「もっと自由にやらせて欲しい」
などの
『力への意志』があります

しかし現実には

そのための行動を起こすのは大変です

本当は
もっとたくさん稼げるようになって
自分がやりたい仕事を選びたい

本当は
仕事で業績を上げて会社に認められ
命令する立場になりたい

本当は
お客さんに満足してもらい
感謝される存在になりたい

本当は
もっと信頼され任され
自分のやり方で仕事がしたい

でも
そうなるためには
努力をして課題を乗り越えなくては
なりません

努力をするのは面倒だし

努力をしてもすぐには報われない

だったら
『力への意志』捻じ曲げて
自己保存（保身）に走ってしまえ

本当は
たくさん稼ぎたいし
やりたい仕事に就きたいし
会社から重用されたいし
お客さんに喜ばれたい

でも

それが大変そうだから

高収入のやつにロクなやつはいない
悪いことでもしなければ稼げない
やりたい仕事なんてあるわけない
企業に魂までは売らないぞ

というように
欲望の捻じ曲げて
努力をしない自分を肯定し
思い通りにならない他を否定する

求めているものが手に入らないことは辛い

だったら

手に入っているものを求めていたことにする

そうすることで

「自分は思い通りの人生を生きている」

と自分を守る

あなたの周りにも
ルサンチマンを発揮している人
いませんか？

ルサンチマンを発揮するということは
『力への意志』を正しく活用できない
ということになります

あなた自身
ルサンチマンを発揮していることは
ありませんか？

自分のルサンチマンを認めることは

なかなかしんどい作業です

なぜなら
ルサンチマンを認めてしまえば
努力をしていない自分を放置できなくなり
『力への意志』を素直に従い動かなくては
ならなくなる

『力への意志』を活用して
人生をより良くするためには
自分のルサンチマンを向き合うこと

ただし

わかりにくいルサンチマンに注意

みんながみんな
社長を目指すことが
素直に『力への意志』に従った
正しい在り方なのでしょうか？

社長になっていない人は
みんなルサンチマンを
発揮しているのでしょうか？

みんながみんな
億万長者を目指すことが
素直に『力への意志』に従った
正しい在り方なのでしょうか？

億万長者になっていない人は
みんなルサンチマンを
発揮しているのでしょうか？

みんながみんな
美男美女を目指すことが
素直に『力への意志』に従った
正しい在り方なのでしょうか？

外見を磨いていない人は
みんなルサンチマンを
発揮しているのでしょうか？

『力への意志』を深く考えないと

拡大至上主義

になります

ルサンチマンを発揮せず
かつ
単なる拡大至上主義に陥らない

自分にとっての
真の成長
真の豊かさ
真の幸福
を考えて努力し続けることが重要

例えば

量的拡大より質的向上
物質的豊かさより精神的豊かさ
相対的幸福より絶対的幸福

などを追求するのも一つの方法

ただし
資本主義社会では
量的拡大
物質的豊かさ
相対的幸福
を求めるように仕向けてくる

収入は多い方が勝ち組
持ち物が高価な方が成功の証
多くの人より幸せになりましょう

子供の頃から勉強を頑張らせられ
ステータスやブランド品を求め
自分より不幸な人を見ては安心し
自分より幸せな人を見ては羨む

だからといって
「別に今のままでいいんだ」
と『力への意志』を捻じ曲げていないか
を常に自問自答する

自分のルサンチマンに騙されないために

「それは現状維持か？変化か？」
「それは簡単か？難しいか？」
「それは順境か？逆境か？」

と正しい『力への意志』が必要かを
確認する

例えば

どの会社からも欲しがられるナンバー２
会社で一番仕事ができる平社員
日本一給料が安い日本一高寄付額の社長
どうみても普通なのに何故かモテる人
誰からも愛されるブサイク
などなど

誰しもが持っている
『力への意志』を活用して
あなただけのより良い生き方を
追求し続けましょう

ワーク

あなたが
本当は気づいているのに
目を背けているルサンチマンは
何でしょうか？

世間一般の成功ではなく
ルサンチマンでもなく
自分独自の成功とは？

ご成長ありがとうございます